



2010年05月09日

【先週のメッセージより】 マタイ28：16～20

大宣教命令に応えよう



●イエスを礼拝した弟子たち

マタイは弟子たちがガリラヤのある山で復活されたイエスに会ったことを記録している。ユダヤ人たちはイスラム教徒のように、神は人ではなく、人は神ではないことを徹底的に叩き込まれていた。ユダヤ人であった弟子たちが今や、イエスに会うなりイエスを神として礼拝するようになっていた。そして彼らはこの確信とこの主張の



ために自分の命をささげたのである。

●ある者は疑った

しかしマタイはイエスの復活とイエスが神であることを信じる信仰が決して自動的ではなく、疑問の中にいた人々がいたことも示している。これは私たちにとっても慰めになる。天地創造の神を信じることができても、人となって来られた神、イエスを信じることには

多くの障壁があり、確信に至るまで時間はかかるのである。しかし恵み豊かな神は私たちに考え、検討する時間をくださるのである。

●イエスは天、地において、一切の権威をもっておられる

この命令は私たちすべてに与えられている。そして主イエスの主権を理解する事は、宣教を理解するのに大きな意味を持つ。自分の親も子も、友人も知人も皆、必ず、天地の支配権を持つイエスの御前に立たなければならぬことを常に思い描いてみよう。その人たちは「私の周りにクリスチャンはいたけれども、あなた（イエス）のことについては一度も教えてもらいませんでした」と果たして言うであろうか。そのイエスは私たちに何と仰るだろうか。

●SO, Tell me about the SOUL WINNING part of your life.

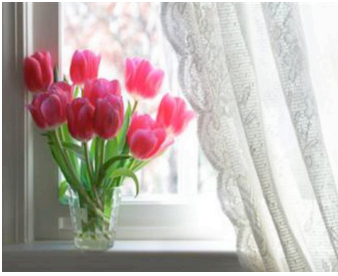
その意味で、いつも上記の問いを主から聞かれることを念頭において福音宣教に励んで行きたい。■

【今週の英語】バンクーバーの牧師研修会で聞いた言葉です。

THE CREATOR CREATES CREATION

創造主が被造物を創造した。・・・これは創世記一章一節に示されている聖書の最も根源的な主張です。日本語では、クリエイションに対応するふさわしい言葉がなかったので、聖書翻訳の過程で「被造物／ひぞうぶつ」という言葉が生まれました。英語の Creation は口語訳、新改訳、新共同訳いずれも被造物と訳されています。■





【母の日によせて】

1908年の5月第2日曜日にアメリカで行われた記念日が「母の日」の始まりです。

バージニア州のウェブスターの町にあったメソジスト教会にアンナ・M・ジャービスという、教会学校教師を長年勤めた婦人がいました。ある日曜日、ジャービス先生は

十戒の「あなたの父と母を敬え」という聖書箇所から話し、「皆さんの中でどなたかお母さんの偉大な愛に対し、心からの感謝を表す方法を考えてくださる人はいませんか？」と生徒たちに訴えました。その話を感銘深く聞いていたのがジャービス先生の娘アンナでした。アンナは、母親が召されたとき追悼会でたくさんのカーネーションの花をささげ、母親を偲びました。そしてその席で彼女は毎年一度、母たちを記念し、母の慈愛に感謝しようではありませんかという感動的な訴えをなし、それがクリスチャンであり、教会学校の先生をしていた百貨店王のジョン・ワナメーカーに受け止められ、1908年の記念会が催されることになったのです。これが切っ掛けとなり、1914年にアメリカで正式に祝日となりやがて全世界に広がっていきました。

【今週の暗唱聖句】使徒1：8 イエスの宣教声明

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てまでわたしの証人となります。

この聖書箇所は「これから後、あなたたちにはこのようなことが起きこういう風になりますよ」と云うイエスの預言、声明です。力を受けること、地の果てまで証人となることは、神が予め定められたことであり、「使徒の働き」という書物はまさに神が計画された通りにエルサレムから始まり当時の世界の中心のローマに福音が届いた所で終わります。そして全ての道はローマに通じていたため、ローマに届いた福音は全世界へと伝えられて行くようになったのです。日本の国は正に地の果て、シルクロード経由、黒潮経由、太平洋経由と今まで大勢のキリストの証人たちが福音を日本に届けようとしてきましたが、難攻不落の城の如く、キリスト教に対する抵抗は未だ根強いものがあります。一時間に3人も4人も絶望して自分の命を断ち、引きこもりの人数が360万もいるのが日本です。今、日本に一番必要なのは人間が考える解決や方策を越えた神の愛、神の力なのではないでしょうか。■

「霊的戦い」は次回に回します。